—丸の内病院 広報—

まるのうち

No.24
2009年11月25日
発行

特集
病院祭 ……02
「第2回丸の内病院祭」を終えて
新型インフルエンザについて知っていただきたいこと
パネル一覧

リレー随想 ……08
クラブ紹介 ……09
TOPICS ……10
ふくわうち ……11

特集 病院祭

「第2回丸の内病院祭」を終えて

病院祭実行委員長　五味　英一

去る9月5日（土）、移転後初めての新病院に於ける丸の内病院祭が行われました。当院の「50年のあゆみ」によれば、初回の病院祭は平成6年10月22日開催となっております。

さて、今回の病院祭のコンセプトは「丸の内病院からの新たなる発信」でありました。新型インフルエンザの流行も懸念されたため、開催時間を絞り（午後2時～4時30分）且つ食料品関連の出店も残念ながら取り止めました。病院本来の機能である医療相談、医療講演会を主体に、各診療科、技術部門、医事、健診センターから30数枚に及ぶパネルが出展され、日頃の診療内容の紹介が行われました。病院のエントランスでは、感染対策委員会のメンバー（笠井先生ら）がインフルエンザ感染対策の実技指導を行い、メイン会場の健康相談･測定ブース（14の各ブース）には多くの住民の方が訪れ、血圧･血糖測定、体脂肪測定、骨密度測定、禁煙指導、痔核治療、経鼻内視鏡、看護の日コーナー等では熱心に各診療科の医師や看護師の説明に聞き入っていました。また、訪問看護センターや理学療法科による体験コーナーでは介護体験やボールエクササイズがとり行われ、訪れた方々はそれぞれ実践の困難さを体験されておりました。講演会も大変盛況で、高血圧･心臓病（林先生）、骨粗鬆症（中土院長）の時流を得た話題にメモを取りながら聴講されている方まで見受けられました。

皆様ご存知のように、実はこれ以前の5月23日に病院祭が企画されており開催一歩手前でしたが、これも新型インフルエンザの初発期と重なり中止、延期となっていた経緯があります。ここには、看護師さんらによる20店あまりの出店、演奏会（縄田先生ら、鈴木メソードの子供たち、ゴスペラーズ、明科の太鼓）、劇団俳優（田中要次さん）による独演会、アルプちゃん（松本市のイメージキャラクター）の出演などのお楽しみ企画満載でありました。これらは実演直前まで準備が進んでいただけに出演予定者の方々にも多大なるご迷惑をかけることとなり中止の決断は断腸の思いでした。

しかし、今回のような当院に於ける、純粋に医療、学術活動を紹介する病院祭も十二分に開催意義が深かったように感じております。一度テンションの緩んだ紐をもう一度締めなおす事は大変なご苦労だったと思いますが、院長のご指導のもと、病院祭実行委員の方々を始め全職員の皆様のパワーを結集でき、無事に開催、終了することができました。病院祭終了後にアンケートを提出頂いた方（50名）からは、当病院が地域医療に尽力されている姿がよく分かった、日々の忙しい診療では聞けないお話も医師やスタッフが詳しく説明してくれた、職員の皆さんが大変親切であった、是非次回も開催して下さいなど、多数の好評を頂きました。

コンセプト通りの病院祭が成功裏に終わりましたことに、本稿をお借りしまして職員の皆様にあらためて厚く御礼を述べさせて頂きます。

病院祭 特別講演

「骨のことを知り、骨の健康を守ろう」講演要約

丸の内病院　院長　中土　幸男

1.骨は体を支える、カルシウムを蓄える、臓器を守る、骨髄で血液成分をつくるなどの働きをしている。骨は構造により海綿骨と皮質骨に分けられる。骨は常にリモデリングされている。すなわち、骨芽細胞による骨形成と破骨細胞による骨吸収を同時に行いながら、力の伝達や、体重支持などの力学的な要請に応えている。破骨細胞と骨芽細胞の活動性の差によって骨量の増減が決まる。1年間に全骨量の5～10%が新生骨に置換される。全骨量の20%しか占めない海綿骨では骨代謝全体の80%を占め、一方、全骨量の80%を占める皮質骨は骨代謝の20%を占めるに過ぎない。このことから、骨粗鬆症の初期の変化や薬物の効果はまず海綿骨から現れて、皮質骨での変化は遅れる。

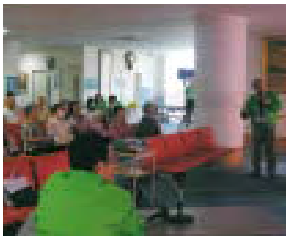
2.最新の骨粗鬆症の定義は、"骨強度の低下を特徴とし、骨折のリスクが増大しやすくなる骨格疾患"とされている。骨強度には骨密度が70%と骨質が30%関与している。骨の健康度のチェックには、従来の骨量（骨密度検査）のみでなく、骨質（骨代謝マーカー、超音波による音響的骨評価などの検査）の評価も必要である。これらの検査は当院では約30分で全てができます。検査結果とその解釈、および必要に応じた治療法については検査から約2週間後に整形外科の専門外来（骨粗鬆症外来）で説明しております。

3.女性では閉経を過ぎたら、あるいはリウマチや腎疾患、糖尿病などの続発性骨粗鬆症（加齢以外の原因で骨粗鬆症をきたす疾患）を起こす疾患をもっている方は早めに骨の健康度をチェックし、専門医の診察を受けることを勧めます。

4.骨粗鬆症や骨高代謝回転（過剰な骨吸収と骨形成とが起きている状態、早晩、骨粗鬆症に至る）と診断されたら、専門医と相談し、骨吸収抑制効果のあるビスホスホネート製剤を主とした薬物療法が推奨されます。骨粗鬆症外来では他に運動療法と栄養療法（当院での骨粗鬆に対する栄養教室の案内）についても説明しております。薬物療法を行っている患者さんは約5ヶ月間隔で骨粗鬆症の定期検査を行い治療効果について説明をしております。骨粗鬆症の薬は近くのかかりつけの先生（当院から情報を提供した上で）からも処方戔がいただけます。

5.骨粗鬆症のある80歳以上の高齢者では薬物療法の効果に限界があるため、大腿骨頚部骨折のリスクの高い患者さんにはヒッププロテクター（転倒した場合にも大腿骨頚部骨折の発生を軽減してくれるパンツ）の使用を勧めております。

6.不幸にして大腿骨頚部骨折や脊椎圧迫骨折など骨粗鬆症に起因する脆弱性骨折（低骨量が原因で、軽微な外力によって発生した非外傷性骨折、他に橈骨遠位端骨折、上腕骨近位端骨折がある）を起こしたら、あるいは起こしたと思ったら、できるだけ早めに迷わず整形外科を受診して下さい。当院では、その方の病状（合併症も含め）と生活･社会的背景も考慮し、必要な治療（手術も含め）とケアを受け持つ医療チームが復帰までを強力にサポートいたします。



病院祭 講演要約

「こわい動脈硬化と心臓病」

循環器内科　　林　元則

9月5日に施行された丸の内病院･病院祭において次の内容でお話しいたしました。①動脈硬化とは?　②心不全とは?　③では、その予防は?

1.動脈硬化とは?

水道管に水垢が付いたり、錆が付いたりすることがあります。血管も同様に使い込むほど（年をとるだけで）血管の内側にコレステロールのカス（粥腫:じゅくしゅ）が付きます。動脈硬化は、その字のごとく血管が硬くなるということですが、硬くなるということは逆に、脆くなるということです。粥腫により血管の内腔が狭窄してしまえば、血液を流すことが難しくなりますし、脆くなってしまえば血圧に対抗しきれない部分が拡張してしまう（動脈瘤になってしまう）こともあります。

動脈硬化の程度を検査する項目として

●頭部MRI　●眼底検査　●頸動脈エコー　●脈波伝播速度等がありますが、いずれも健康診断（ドックなど）で施行されており、自分の状況をお知りになりたい方はかかりつけの先生と相談されるのがよいと思います。

2.心不全 とは?

心臓は全身に血液を送るポンプです。このポンプとしての働きが不十分な状態が心不全です。心不全を来たす主な病気として

●虚血性心疾患　●心臓弁膜症

●（不整脈　今回はお話しませんでした）等があります。

虚血性心疾患とは、粥腫により心臓自身に栄養を送っている血管（冠動脈:かんどうみゃく）が狭窄し、冠動脈から心臓を構成する筋肉への血液供給が不十分となった結果として起こる病気の総称です。有名な狭心症、心筋梗塞がこれに含まれます。また、心臓には血液を一方向に送るための逆流防止弁が付いています。弁がきちんと閉じなければ逆流を生じ（閉鎖不全症）、弁が硬くてきちんと開かなければ血液を送り出すときの抵抗になってしまう（狭窄症）という病態となります。心臓弁膜症も動脈硬化が主な原因とされています。

3.では、動脈硬化の原因にはどのようなものがあるでしょうか。原因を知ることが予防に通じます。

●高齢（65歳以上）　●喫煙　●高血圧　●脂質異常症　●肥満（特に腹部肥満）　BMI=体重(kg)/身長(m)^2 が25以上

等があります。年をとらないわけにはいきませんが、それ以外は防ぎ得るものです。塩分制限や体重管理を行うことは、血圧のコントロールにも役立ちます。

上記のようなお話をいたしました。そして、「自分自身の体を知り、日々の自己管理が重要です。これにより健康で、長生きできるようにがんばりましょう。」と締めくくりました。

特集 病院祭

新型インフルエンザ について知っていただきたいこと

当院の診療方針

■はじめに

新型インフルエンザについては大きく報道されていることもあり、さぞご心配だったのではないかと思います。 しかし、新型インフルエンザについて、正しく知って、正しく対応すれば、むちゃくちゃに心配する必要はありません。ここに当院での診療方針とご自宅での療養方法について提示させていただきます。

■当院の診療方針

- 当院では、新型インフルエンザの患者さんの診療拒否はいたしません。
- スタッフには、院内感染対策について十分教育しています。正しく手洗いやマスクを着用していなければ、病棟責任者までご一報ください。厳しく指導いたします。
- 当院では、熱や呼吸器症状などインフルエンザが疑われる症状のある患者さんの診察は、「感染症診療室」で行います。総合受付より職員が診察室までご案内します。
- 新型インフルエンザが心配で当院を受診される場合は、事前にお電話していただけますと、スムーズにご案内ができます。 受診の際は、不織布マスク(サージカルマスク)を着用して、ご来院ください。付き添いの方もマスクを着用してください。
- 外来での診療の目的は、入院の必要な重症患者さんを早期に発見し、治療に結びつけることです。
- 検査だけが新型インフルエンザの診断に必要なわけではありません。検査は鼻や喉を長くこすって行う、あまり快適な検査ではありませんし、検査キットにも数に限りがあります。医師が必要ないと考えた場合は検査を行わない場合もあります。
- 検査陰性でもインフルエンザを完全に否定できないことがありますので、総合的に医師が判断します。
- 抗ウイルス薬は、医師が重症度、重症化の危険性などを勘案して処方します。
- インフルエンザの患者さんと濃厚接触した場合の予防投与ですが、その必要性と有効性と副作用とのバランスで判断いたします。医師に相談してください。
- 医師がお願いした場合は、他人に感染症をうつさないように7日程度自宅にて外出を控えていただくかもしれません。これは新型インフルエンザであっても他の感染症であっても他人にうつさない配慮です。その間、症状がよくなっているかの確認で、医師が電話でご連絡差し上げることがあります。一度帰宅となっても、息が苦しい、症状がどんどん強くなるなど不安な点などがありましたら、当院代表(**0263−28−3003**)までご連絡ください。場合によっては再受診が必要なことがあります。

ご自宅での療養方法

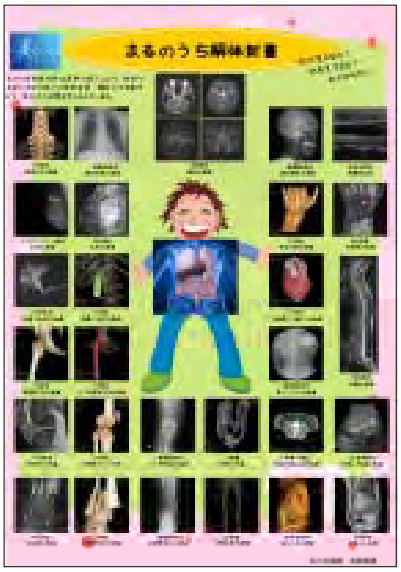
■ご自宅での療養方法

1. 水分を多めに取り、可能なら食事もきちんととり、栄養管理に努めましょう。
2. 充分な睡眠を取りましょう。
3. よく手を洗いましょう。
4. 咳やくしゃみをするときは、手やティッシュで口をふさぎましょう。そのときは手をこまめに洗いましょう。ティッシュは丸めてゴミ箱に捨ててください。ゴミは普通の燃えるゴミに捨てていただいて構いませんが、家人がゴミに手を触れたときはよく手を洗いましょう。ゴミからインフルエンザに感染する可能性はとても低いです。患者さんが吐いたり下痢をしたときは、マスクをつけてその処理をした方がよいでしょう。そのときもしっかり手を洗ってください。
5. 患者さんのお世話をする人数は少ない方がよいでしょう。お世話のときはマスクをしてください。
6. 患者さんも他の家族と接するときはマスクをしましょう。ひとりでいるときはマスクをしなくても結構です。
7. はし、コップなどの食器は共有しないでください。普通に洗えばそこから感染する可能性はとても低いです。
8. 患者さんの衣類は普通に洗濯してください。脱いだ衣類をさわったら手を洗いましょう。洗濯したあとの衣類からは感染しません。
9. 体温は1日2回程度測りましょう。熱は大抵、数日続きますので、受診翌日熱が下がらなくてもそんなに心配しなくてもかまいません。
10. 患者さんの言っていることがよく分からなくなった。体温が急に変化した、息が苦しくなったなど症状が新たにでてきたら危険信号です。お子さんでしたら、いつもと様子が違う、という親御さんの直観も頼りになります。そういうときは発熱相談センター(松本保健福祉事務所健康づくり支援課**0263-40-1939**)などに相談されるのがよいでしょう。
11. 症状が始まってから7日経ち、症状もおさまってきたら日常生活に復帰し自宅療養を止めてもよいでしょう。もし7日経ってもよくならないようだったらご相談ください。

病院祭 看護ブース

コメディカルからの発信 パネル一覧

やさしい放射線



丸の内解体新書

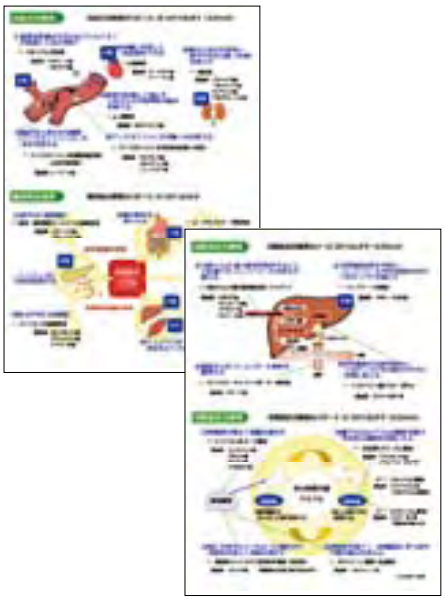
薬剤課パネル

病院祭パネル 栄養課

病院祭パネル(リハ課)

検査課パネル

病院祭医師が来院者へ説明



リハビリテーション課による バランスボール

訪問看護・居宅・訪問介護ステーション

●部門紹介

地域にカエルステーション Change!!

新たにヘルパーステーションが立ち上がり新しいメンバーとともにブンブン飛びまわっています!!

まるのうち夢劇団に入りませんか

「ぼくらの人生はたった1回しかないのだから、どんなに大変でも今をしっかり生きて将来に希望をもっていこうよ。そうすればこれからの人生にいいことは必ずあると思うよ。有名な画家のルノワールはリウマチだったって聞いたけど、晩年障害のある体でも、キャンバスの前に座っている1日はとても幸福だったんだそうだ。だから僕らも、毎日が幸せになるように過ごしていこうよ」

「ありがとう。私、リウマチになってから人生を悲観ばかりしていたけど、何とかやっていけそうな気がする。これからは自分なりの生き方を探して悔いのない人生を送っていけるようにするわ」

去る11月1日（日）、まつもと市民芸術館で開催された信州リウマチネットワーク第2回市民公開講座第2部においてまるのうち夢劇団による「ルノワールの幸福な1日」が上演されました。上の一節は、主人公と恋人のクライマックスのセリフです。上演後、世話人の先生方からはお褒めの言葉をいただき、ご覧になられた患者さんからは、大変よかった、感動したなどの好意的な感想を多数いただいており、私どものメッセージは参加していただいた方々に確実に届いたものと確信しております。

そもそも市民公開講座になぜ演劇?なのでしょうか。現在、医療や保健活動に演劇や寸劇が行われることは決してめずらしいことではなく、長野県はおそらくその発祥の地であろうと思います。先年お亡くなりになられました佐久総合病院名誉総長若月俊一先生が公衆衛生活動のため村々を回り、その際住民への啓蒙活動に演劇を取り入れられたのは有名なお話です。市民公開講座は現在、大小さまざまなものが多くの医療分野で行われており、その必要性は高いものと思います。しかし講演中心の講座はどうしても話が難しく、学校の授業のようになってしまう傾向があり、また毎年同じ形式ではマンネリ化してしまいますので、別の方法で何とか参加した方々の心に残るようなものができないかと考え演劇を思い立ちました。この構想は約1年前のことです。

演劇というのは役者がいなければ始まりません。まず有志を何人か募り、4月から本格的に団員をかき集め、最終的には裏方も含めて総勢21名の方々に参加していただきました。実際の劇団活動は、毎週月曜日勤務終了後、ひそかに院内で進められていました（秘密結社の地下活動のごとく）。5月からプロットを作り始め、7月に台本完成、8月台本読み合わせ、9月半立ち稽古（台本を持って動きのある練習）、9月23日合宿（といっても院内の会議室で休日の半日行っただけですが）、10月通し稽古、10月28日リハーサル（院内外来待合室において）、そして本番と同じ舞台稽古は当日午前のたった1回という綱渡りのスケジュールでした。当日全員が何の問題もなくそろったのは奇跡に近いといっていいものでしたが、本番の劇が最高のものに仕上がり、いつもながらの最後は何とかしてしまう丸の内病院職員の底力を感じました。初公演がまつもと市民

芸術館のしかも主ホールで、音響、照明、舞台監督などすべてプロの方々が私たちの演劇を支えてくださるという、普通では考えられない最高の舞台での公演でした。最初に担当者が芸術館に頼みに行った際、どこの劇団の方ですかとの質問に対し、丸の内病院の素人劇団であることをお伝えしたところ、かなりけげんな顔をされたそうです。しかし、今回の演劇は医療関係者でなければ絶対できない劇であり、参加者の方には十分満足していただけたものと思っております。また団員の皆様方も、かなりの充実感、達成感があったものと思います。

今後については、続けてほしいというご要望も多く寄せられておりますので（県内各地を回ってほしいなどというありがたくも、大変な要望もありますが）、せっかくこれだけのものを作り上げたので、1回きりでやめてしまわないで、しばらく充電後、再始動しようと思っております。劇団員の皆様、その節はまたよろしくお願いいたします。そして、今回お誘いできなかった職員の方々におかれましても、ご興味のある方は是非ご参加ください。団員がスカウトに参ります。

最後に、裏方も含め今回の演劇にかかわっていただいた皆様、観劇においでいただいた方々に御礼申し上げます。特に外来看護師一同様からは、すばらしい花束を頂戴し誠にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

リウマチ科 科長　山崎　秀

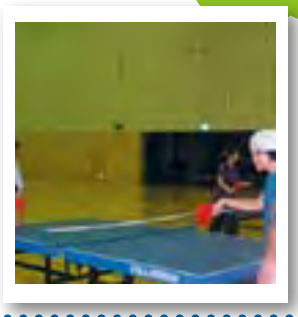
卓球部

卓球部は21年4月より新たに抱友会により承認され活動開始となりました。現在の活動は、概ね月に1回のペースで行っています。

卓球は「卓球はネクラ」というタモリの発言以降、とかく暗いイメージが付きまといますが、気軽に楽しめることから現在若者の間ではにわかにブームとなっています。

当卓球部でも手ぶらで楽しめますので、是非一度遊びに来てください。

たのしいよ!



親睦会

牧田陽介

親睦会とは…ウィキペディア（インターネット上のフリー百科事典サイト）によると、「お楽しみ会ともいい、子ども会･保育所･幼稚園･小学校･老人ホームなどで行われるレクリエーション的なイベントである。」と記されています。

今年も恒例の職員親睦会が7月18日に開催されました。縄田先生の見事な始球式で幕を開けたボーリング大会、肉々しい匂いに包まれたまきば山荘での焼肉&ビンゴ大会。総勢約80名で、新入職員の皆さんも数多く参加して頂き、他部署の方々と、ストライクを決めてハイタッチしたり、お酒を酌み交わしたりと貴重な交流の場を持つことができ、とても有意義なひと時でした。

ここ数年、親睦会=ボーリング&まきば山荘と、連想ゲームが成立してしまうほど、浸透し過ぎていて、今年も目新しさに欠ける感じでした。しかし、実際は楽しい雰囲気の中で昼間から飲める!というお酒の力も借りて、大いに楽しむことができたのではないでしょうか。

これぞ、親睦会いや“お楽しみ会”の魔力なのではと感じました。
来年はこの魔力を利用して、○○だらけの水泳大会なんて企画も、ひょっとしたらアリかもしれません。あくまでもレクリエーション的なイベントとして……。

松本ぼんぼん

平成21年8月1日に第35回松本ぼんぼんが開催され、当院も参加しました。先ず出陣式では連長である抱友会長小林さんの挨拶があり、マイクが壊れそうな大きな掛け声でみんなの気合が入りました。

その後病院の正面玄関で写真撮影を行った後、大雨の中おやつと沢山の飲み物が詰まった台車をみんなで一生懸命押しながら、現地までびしょ濡れになって歩きました。副連長の平林さんは大切な副連長のTシャツが濡れてはいけないと合羽を着ていました。

山崎先生、片桐先生、吉田先生の参加もあり、みんなで団結して踊りました。

その結果、審査員特別賞を受賞しました。賞を受賞できたことは、大変良い病院のPRになったと思います。

皆さん本当にお疲れ様でした。

WELCOME ふくわうち

①自己紹介･抱負
②趣味

診療技術部　放射線課
放射線技師

すずき　けんた
鈴木　健太

①5月から放射線課で働かせていただいている鈴木健太です。
まだ放射線技師になって5ヶ月程しか経っていませんが、日々努力していき、先輩方のような技師になれるといいなと思っております。
こんな未熟者ですがこれからよろしくお願いします。
②趣味は、昔からやっていたサッカーをすることや体を動かすことが好きです。

看護部　4階病棟
看護師

あかいわ　けいこ
赤岩　恵子

①5月から4階病棟に勤務しています赤岩恵子です。病院で働くのは5～6年ぶりで、また、産婦人科の勤務も初めてのため、日々学ぶことが多いです。個性的で明るいスタッフの中で楽しんで仕事ができればと思っています。
②これからの季節、休日は紅葉や温泉、スノーボードにでかけることが楽しみです。

看護部　外来(外科)
看護師

かとう　さゆり
加藤　さゆり

①6月から外来で勤務しています。
十分に仕事をこなすには、まだまだですが、自分のペースで確実に覚えていきたいと思っています。
②アウトドア

健診センター
事務

うしやま　のりこ
犀山　教子

①6月からパートとしてお世話になっています。事務経験がなく、まだまだ分からない事が多いですが、みなさんに教えて頂きながら早く仕事を覚えて頑張っていきたいと思います。よろしくお願い致します。
②趣味は登山です。好きな場所は燕岳です。いつか富士山にチャレンジしたいと思っています。

看護部　3階病棟
看護師

みやざわ　かよ
宮澤　佳代

①はじめまして、3階病棟に配属になりました宮澤です。六月中旬から少しのお休みを経て働き始めました。
最初は、以前働いていた病院とはまた違った雰囲気で、時々とまどい…、時々感心しながら…、病室からの心地よい日差しを浴びながら、毎日仕事を頑張っています。まだまだ精一杯で余裕がないですが、心に余裕ができたら大好きな旅行にいっぱい行きたいです。
皆様よろしくお願いします。

診療部　整形外科
医師

ももせ　たかしげ
百瀬　能成

①学生時代サッカーで膝前十字靱帯を断裂し、数年前にもサッカーで鎖骨を骨折、いずれも手術で治した既往があり、かつては整形外科患者だった私です。けがの痛みや術後の苦痛、リハビリのつらさを実際に体感しよく理解していますので、整形外科医としてその経験を少しでも患者さんに役立てられればと考えています。今もサッカーが好きで、勤務の傍ら松本山雅FCのチームドクターとして試合に帯同しています。よろしくお願いします。

診療部　整形外科
医師

まつき　ひろゆき
松木　寛之

①7月から赴任しました整形外科の松木寛之と申します。6月までは諏訪赤十字病院で2年間外傷や上肢の外科の治療を行ってきました。今後は中土院長のもとで上肢の外科の治療を主に行っていきたいと思います。大学での研究、他病院への手伝い等で丸の内病院での勤務時間は限られていますが、可能な限り病院のために貢献できればと思っておりますのでよろしくお願いします。
②車の運転

看護部　3階病棟
看護師

むらしま　なみえ
村島　奈美枝

①茨城県から参りました。趣味が登山で、北アルプスを望める松本で暮らしたいと思い、転居してきました。知り合いがいないため、とても不安ではありましたが、周囲のスタッフの方々がとてもあたたかく、少しずつではありますが松本での暮らしも慣れてきたようです。茨城でも看護師として働いてはきましたが、また一から勉強のつもりで、早く戦力になれるようにしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

退職者（退職順）　長い間ご苦労様でした。（敬称略）

こばやし	かずひこ	にしむら	みお	まるやま	みほ	もちづき	きよこ	うちむら	ひろみ	しおはら	あきら
小林	一彦	西村	美音	丸山	美穂	望月	清子	内村	弘美	塩原	晃
ももせ	まなみ	だいもん	さきえ	うすい	れいこ	さいとう	ともみ	やまもと	はづき	よしだ	みか
百瀬	麻奈美	大門	咲雅	碓井	玲子	齊藤	友美	山本	葉月	吉田	美香
もりた	そのこ	ひぐち	はるか	こばやし	かずお	いとう	ちなみ	すずき	けんじ	ひらばやし	なほこ
守田	園子	樋口	晴香	小林	一夫	伊藤	千波	鈴木	健児	平林	奈保子

インフォメーションフォトギャラリー
Information Photo Gallery

病院祭は、地域の皆様をはじめ多くの方々にお越しいただき、ありがとうございました。

医療法人 抱生会 丸の内病院

広報　まるのうち　No.24

発行日／平成21年11月25日
発行者／医療法人抱生会丸の内病院
発行責任者／中土幸男
住所／長野県松本市渚1丁目7番45号
TEL.0263-28-3003(代)　FAX.0263-28-3000(代)
URL http://www.marunouchi.or.jp
E-mail kanri@marunouchi.or.jp